

生成 AI を用いた診療記録の構造化・データシート作成の高精度化及び医師業務負担軽減に関する研究

1. 研究の対象

2026 年 4 月から 2030 年 3 月 31 日までに国立がん研究センター東病院で診療を受けた患者。

本研究で抽出対象とする診療記録（麻酔記録、退院サマリー、病理結果報告書等）が電子カルテ上に存在し、PDF 等の形式で出力可能である患者を対象とします。

2. 研究目的・方法

研究目的：本研究は、従来、人が手入力により行ってきた診療記録（麻酔記録、退院サマリー、病理結果報告書等）からのデータシート作成等の作業を、生成 AI 及びプログラミングを用いることにより、より高い精度で、かつ短時間で実施できるようにすることです。副次的な目的として、上記のワークフローの導入により、医師の情報収集・データ入力に係る業務負担の軽減及び業務効率化が達成されることを評価します。

研究方法：研究対象者の診療録から診療情報を抽出し、解析を行います。

研究実施期間：研究許可日～2032 年 3 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：該当なし

情報：病歴、治療歴、手術情報、病理診断結果など

4. 試料・情報の授受

本研究は単機関研究であり、他研究機関（委託機関を除く）への試料・情報の提供は行いません。

本研究で用いた試料・情報を国内外の機関で実施する将来の医学的研究のために、研究終了後も大切に保管させていただきます。新たな研究に用いる際には、国内外の規制に則り、あらためて研究計画書を作成して研究倫理審査委員会の承認や研究機関の長の許可を受ける等、適正な手続を踏んだ上で行います。

なお、新たな研究の概要・研究機関については、新たな研究に関わる機関（試料・情報の授受を行う機関すべて）の公式ホームページ等にて情報公開いたします。

・国立がん研究センターが参加する研究に関する公開情報

https://www.ncc.go.jp/jp/about/research_promotion/study/zisshi.html

5. 研究組織・研究責任者

国立がん研究センター 先端医療開発センター 山下 理宇

6. お問い合わせ等

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

試料・情報が研究に用いられることについて研究対象者の方もしくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

なお、この研究が適切に行われているかどうかを確認するためや研究の科学的意義を検討するために、国内外の第三者の立場の者が研究対象者の方のカルテやその他の診療記録、研究データなどを拝見することがあります。このような場合でも、これらの関係者には守秘義務があり、個人情報は守られます。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：
国立研究開発法人国立がん研究センター東病院 大腸外科
〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1
TEL：04-7133-1111（代表）
研究担当者：曾田 祐民
研究責任者：山下 理宇